



◎我慢するのも教育？（小中学校教室の冷房設置）

■公立小中学校の教室での冷房の設置率

	設置率 (%)	設置率 (%)	
北海道	1.9	滋賀県	77.9
青森県	4.5	京都府	68.8
岩手県	5.1	大阪府	60.5
宮城県	8.9	兵庫県	51.1
秋田県	6.4	奈良県	18.4
山形県	20.2	和歌山県	38.3
福島県	54.4	鳥取県	31.3
茨城県	42.8	島根県	28.4
栃木県	50.6	岡山県	26.3
群馬県	59.6	広島県	35.2
埼玉県	58.9	山口県	18.2
千葉県	37.6	徳島県	37.7
東京都	84.5	香川県	92.3
神奈川県	62.6	愛媛県	13.2
新潟県	19.4	高知県	28.8
富山県	31.6	福岡県	52.4
石川県	45.8	佐賀県	39.4
福井県	55.0	長崎県	14.8
山梨県	50.8	熊本県	30.9
長野県	8.6	大分県	33.3
岐阜県	46.8	宮崎県	30.3
静岡県	12.5	鹿児島県	35.8
愛知県	27.8	沖縄県	74.3
三重県	34.3		

4月1日現在の普通教室と特別教室の合計。文部科学省調べ

※ちなみに長崎市の公立小中での設置で約 40 億円。現場はそんなお金はないと。

一方、例えば北九州市は健康保持と教育環境改善のため全ての小中、幼稚園に空調機の設置を決定。H27～30 年度で年次的に整備中。設置費用は約 71 億円。

猛暑が続くなか、小中学校の教室の冷房設置について書いてみます。早速に。必要と思いますか？必要という方より「暑さを我慢するのも教育」「夏休みは学校は休みだから稼働日が少ないのでは」と思っておられる方がいらっしゃると思います。

左は全国の設置率（北海道、東北を除くと本県はワースト 4 位）。私は設置に賛成派で H27 年 6 月本会議で質疑しました。

（有効性は認めつつ、設置への多大な財政負担・維持経費伴うため各市町の判断。情報提供は行うとの答弁）

では、なぜ普通教室に空調が必要と考えるか？

- 年間の平均気温は上昇傾向で夏休み以外の 7 月と 9 月の教室温度は学習に望ましい条件（文科省基準：夏は 25～28 度程度）から大きく乖離
- 長崎市では光化学オキシダント、PM2.5 が環境基準を超えている

さらにいえば、現在の小中学生のほとんどは生まれた時から空調の整備された部屋で生活し、今ではエアコン設置率は 91.1%（2017 年 二人以上世帯）。

→だからこそ我慢する場だとなご意見もあるのかもしれませんが。

温暖化や大気汚染などで環境が変化する中で、財政的な面のみで「子ども達に我慢しなさい」というのではなく、望ましい教育環境の整備をすることは必要と考えますが皆さんはどう思われますか？

